

平成 28 年 2 月 2 日

鹿児島大学病院小児科に神経芽腫の治療のため入院された  
患者さんおよびご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「疫学研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 神経芽腫におけるMIBGシンチの有用性の検討

[研究機関] 鹿児島大学病院 小児科

[研究責任者] 岡本康裕（小児科 准教授）

[研究の目的]

神経芽腫の評価に MIBG シンチが用いられていますが、治療経過とともにどのように変化するのか、また継時的な変化が予後とどのように関連しているのかは限られたデータしかありません。これらを明らかにすることは MIBG シンチを用いた治療方針決定に役立ちます。この研究の目的は、神経芽腫の治療中の MIBG シンチの有用性について明らかにすることです。

[研究の方法]

・対象となる患者さん

この研究は平成 2 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日までの 25 年間に、鹿児島大学病院小児科を受診され、神経芽腫の診断で、治療を受けた患者さんを対象に、平成 29 年 3 月 31 日まで調査を行います。以下のカルテ情報を用いて、治療中・治療後の MIBG(陽性率、集積程度)の継時的な変化と、神経芽腫の種類、治療内容との関連を調べます。

・利用するカルテ情報

- ・年齢、性別、身長、体重
- ・治療内容や治療期間
- ・血液検査：血算、生化学(アルカリホスファターゼ、AST (GOT)、ALT (GPT)、乳酸脱水素酵素、 $\gamma$ グルタミルトランスペプチダーゼ、クレアチンキナーゼ、コリンエステラーゼ、総ビリルビン、直接ビリルビン、総胆汁酸、総蛋白、アルブミン、A/G 比、尿素窒素、クレアチニン、尿酸、総コレステロール、HDL-コレステロール、LDL-コレステロール、中性脂肪、グルコース、アミラーゼ、腓リパーゼ、ナトリウム、カリウム、クロール、カルシウム、無機リン、マグネシウム、亜鉛、鉄、C 反応性蛋白、アンモニア、NSE)、凝固検査(プロトロンビン時間、PT%、INR、活性化部分トロンボプラスチン時間、フィブリノゲン、アンチトロンビン III、フィブリン・フィブリノゲン分解産物、フィブリン分解産物Dダイマ

- 
- 尿中 VMA/HVA
  - MIBG シンチ、MRI、CT

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[資金源等、関係機関との関係及び利益相反について]

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科小児科学分野の研究費（使途特定寄付金）で実施します。この研究に対する企業等からの寄付はうけておりませんので、利害の衝突は発生しません。

[参加を希望しない患者さんへ]

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

[問い合わせ先]

〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番 1 号  
鹿児島大学病院小児科 岡本康裕  
電話 099-275-5354 FAX 099-265-7196